



証券コード:1447

2025年3月期 決算説明会



しなやかに、社会を支える

SAAFホールディングス株式会社

2025年6月9日

社員とステークホルダーの皆様と経営の新たなエンゲージメントを創出していくことが、私の大きな役割だと心得ています。

私は、SAAFグループの成長の原動力は「社員」であると考えています。事業を長く続けてきた中で、常に社員の働きがいと成長を考えてきました。事業活動を通して社会課題を解決し続ける企業グループを社員と一緒に創りたいと考えています。そのためには、社員と経営の新たなエンゲージメントを創出していくことが、私の大きな役割だと心得ています。

これまでにお世話になり、応援して下さった株主の皆様、投資家の方々、お客様、協力企業の皆様をはじめとしたステークホルダーの皆様におかれましては以前にも増して一層の努力を惜しまぬ覚悟でございますのでこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
松場 清志



Agenda

1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics



1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics

売上高

28,855 百万円

前期比

▲1.4%

営業利益

333 百万円

前期比

▲53.2%

親会社株式に帰属する 当期純利益

▲129 百万円

前期比

▲81.4%

売上高

- ベトナムの土砂不足（盛土材）による、材料の高騰および納入遅延による工事遅延（海外事業）
- 中間期でも前年同期比減少、下期に予定していた検収案件の期ズレ発生（その他事業）
- コア事業自体の成長率に課題

営業利益

- 売上減少および材料費高騰により減益（海外事業）
- 売上減少および販管費の増加により減益（その他事業）
- 人件費高騰によるコストUP（採用費等）が価格転嫁に間に合わず減益（人材事業）

親会社株主に帰属する 当期純利益

- SOMETHING HOLDINGS ASIA清算による特別損失計上等で赤字となる

2025年3月期 決算内容 (連結損益計算書)



(単位：百万円)

	2023/3	2024/3	2025/3	対前期比		対見込※ (参考)	
	実績	実績	実績	増減額	増減率	見込地	進捗率
売上高	30,528	29,270	28,855	▲414	▲1.4%	31,300	92.2%
売上総利益	7,813	7,569	7,163	▲406	▲5.4%	—	—
販売費及び 一般管理費	7,074	6,855	6,829	▲26	▲0.4%	—	—
営業利益	739	713	333	▲379	▲53.2%	1,090	30.6%
経常利益	708	767	142	▲624	▲81.4%	970	14.6%
親会社株主に 帰属する 当期純損益	162	183	▲129	▲312	—	280	—

※当該数値は2024年5月15日付適時開示にて公表した計画値としております。

2025年3月期 決算内容 (連結貸借対照表)

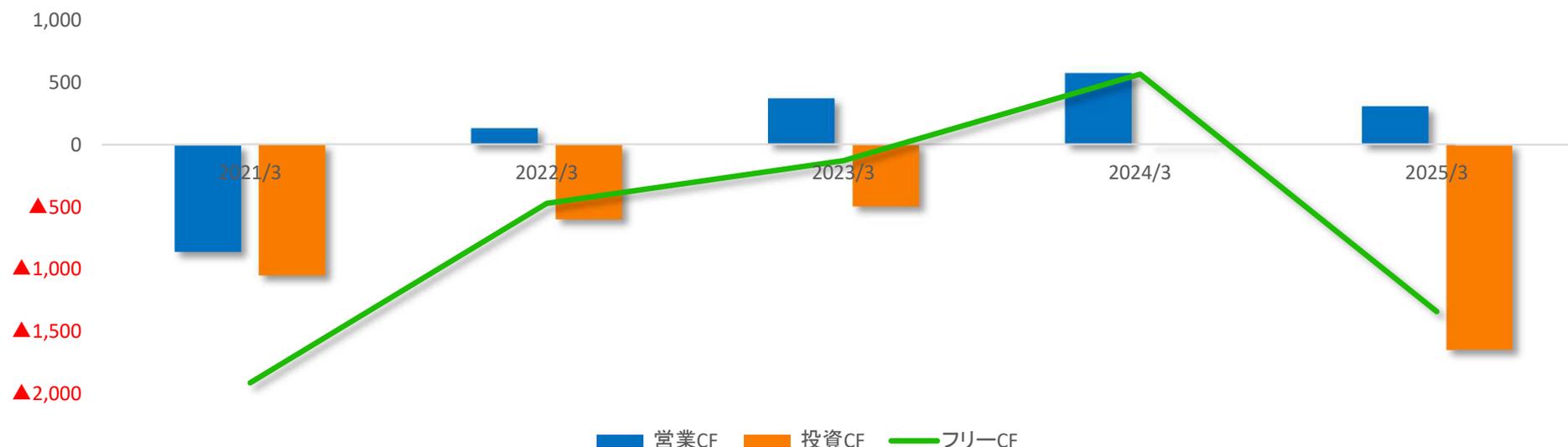


✓資本準備金の額の減少および剰余金の処分を実行（2024年6月25日開催の第6回定時株主総会での承認）

(単位：百万円)	2024/3	2025/3	前期増減額	主な増減要因
流動資産	13,308	10,803	▲2,504	現金及び預金▲1,881
固定資産	4,743	6,194	1,451	固定資産：機械装置及び運搬具+803 無形固定資産：のれん+1,119
繰延資産	0	0	0	
資産合計	18,051	16,998	▲1,053	
流動負債	11,848	9,510	▲2,337	短期借入金▲2,392
固定負債	3,082	4,644	1,561	長期借入金+1,559
負債合計	14,931	14,154	▲776	
純資産合計	3,120	2,843	▲277	親会社株主に帰属する当期純損失▲129
負債・純資産合計	18,051	16,998	▲1,053	
有利子負債	10,237	9,690		
ネットD/Eレシオ	1.81	1.77		
自己資本	2,895	2,648		
自己資本比率	16.0	15.6		

✓株式会社ユーシンの株式取得により投資CFの大幅増加、フリーCF赤字化

(単位：百万円)



(単位：百万円)	2023/3	2024/3	2025/3	前期増減額
営業CF	369	572	305	▲267
投資CF	▲498	▲5	▲1,647	▲1,641
フリーCF	▲129	567	▲1,341	▲1,909
財務CF	▲1,843	925	▲405	▲1,330
現金同等物 期末残高	3,293	4,794	3,044	▲1,750



1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics

2025年3月期セグメント別業績サマリー



(単位：百万円)		2023/3	2024/3	2025/3	前期増減額	決算概要
コア事業	コンサルティング	売上 1,741	1,929	1,994	65	✓ITBook：①コンサル案件の失注のリカバリーができず減収減益 ②コンサルタントの採用強化を進めるも採用数は予定を下回る ✓みらい：①事業スケールアップにより増収増益 ②自治体スーパーアプリ開発も計画通り1案件受注
	セグメント損益	359	272	249	▲23	
	システム開発	売上 3,436	3,158	3,343	184	✓IT人材の採用難航 ✓NXTech：案件の収益管理の徹底により利益面に寄与 ✓東京アプリケーションシステム：安定的な収益確保 →コア/ポ事業 好調 →原価予算を意識した組織構築
	セグメント損益	130	203	272	68	
人材	売上	6,476	5,914	5,851	▲63	✓NXTech（技術者派遣）：派遣人員（SE）の採用難航 採用コスト増 ✓アイニード：上期派遣人員の獲得の獲得に苦勞し売上高は前期比横ばい 利益増強に向けた構造改革着手（管理・収益構造・新事業等） →販管費の増加 ✓イスト：EMPS事業（教育人材派遣・紹介）好調により増収 移転費用等の販管費増加分はカバーできず減益
	セグメント損益	287	127	28	▲98	
地盤調査改良	売上	17,171	16,081	16,437	356	✓サムシング：労務費、製造経費の増加 主力商品：SFP工法売上増加 沈下修正工事、地盤調査、新商材の売上増加 ✓アースプライム：・ゼネコン案件の受注増 ✓東名：工程ずれや地中障害による撤収・工法変更が複数案件発生し売上減 ✓ユウシン：第4Qから連結対象
	セグメント損益	653	533	524	▲9	
育成事業	保証検査	売上 280	302	255	▲47	✓住宅市場低迷により売上高は減少 ✓安定した地盤判定により保証による損失が減少（利益改善） ✓新商品「LAND-BIG」「LAND-G」の販売促進へ
	セグメント損益	3	2	103	100	
	建設テック	売上 480	445	453	8	✓地盤調査・改良のシステム「GeoWeb」が堅調に推移、開発案件も増加 ✓新規事業「4DKanKan」は計画値は下回るも引き合い・レンタル等は順調 →レンタル機を増台へ
	セグメント損益	▲5	30	40	9	
海外	売上	551	931	289	▲642	✓工事に必要な盛土材の枯渇により材料費の高騰・工期延長の影響大 ✓管理システムの導入や社内教育の徹底による工事管理体制の強化を実施
	セグメント損益	4	▲25	▲228	▲203	
その他	売上	388	506	231	▲275	✓kiipl&nap：下期に予定していた検収案件の期ズレ ✓M&Aマックス：売手のキャンセル等により減収減益
	セグメント損益	▲183	▲32	▲101	▲69	

✓セグメントを4つのコア事業に集約することで、事業管理を簡潔にし、戦略立案の効率化を図る



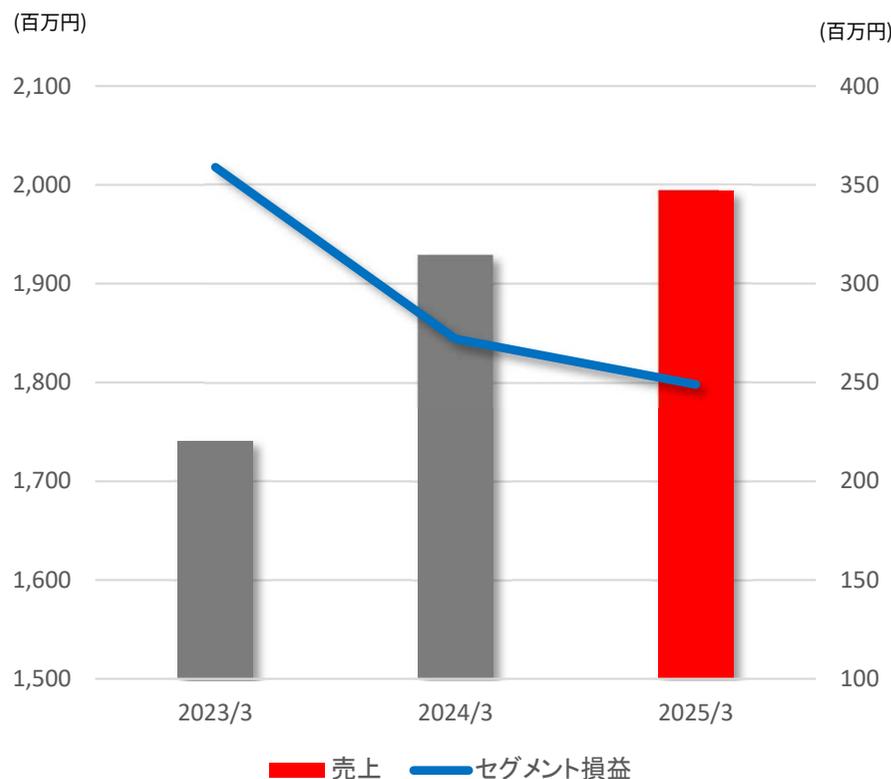
※2025年5月15日付適時開示「報告セグメントの変更に関するお知らせ」のとおり、2026年3月期第1四半期より報告セグメントを変更いたします

売上高：1,994百万円（前期比 103.4%）

セグメント利益：249百万円（前期比 91.4%）

みらいの事業拡大

ITbookの売上計上基準変更の影響



ITbook

売上高 前期比 94.3%

- ・コンサルティング案件の失注のリカバリーができず減収減益
- ・コンサルタントの採用強化を進めるも期初採用計画の人員は未達

【今期戦略】

- ・デジタルマーケティングプラットフォームの構築・運用を開始
- ・新たなマーケット（教育・防災・運用管理補助）における案件の獲得強化
- ・自治体独自AI（RAG機能等）のAI利活用支援への参入

みらい

売上高 前期比 124.4%

- ・人員増強やサテライトオフィス開設等のスケールアップにより増収増益
- ・新事業（システムインテグレーション事業）の収益獲得
- ・自治体向けスーパーアプリ開発案件の受注好調

【今期戦略】

- ・自治体スーパーアプリの機能拡張と営業強化による受注拡大
- ・新規事業の立ち上げ（マッチングビジネス、指定管理/PPP/PFI案件の獲得等）
- ・AI関連のサービス企画立案と自治体の実証・実装事業への積極的なエントリー

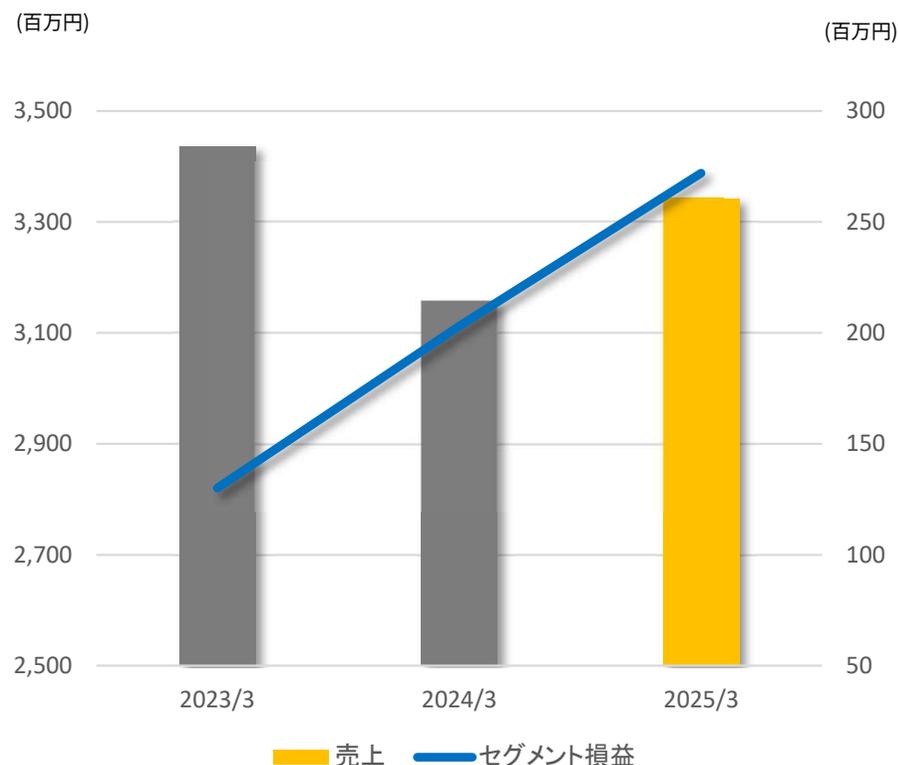
単位：百万円	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	1,741	1,929	1,994
セグメント損益	359	272	249

売上高：3,343百万円（前期比 105.8%）

概ね計画通り

セグメント利益：272百万円（前期比 133.8%）

概ね計画通り



単位：百万円	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	3,436	3,158	3,343
セグメント損益	130	203	272

NXTech

統合により前期比 —

- ・技術者の採用難は継続、当初の売上計画は未達
統合により事業部間の連携強化により人材パイプラインが徐々に具現化しており業績に寄与
- ・案件の収益管理の徹底により、売上や代替案予測の効果が得られ利益面に寄与

【今期戦略】

- ・顧客の集中化、市場の要求を意識した要員の育成、 AIを活用した開発
- ・年度販管費管理の精度向上

東京アプリケーションシステム

売上高 前期比 105.2%

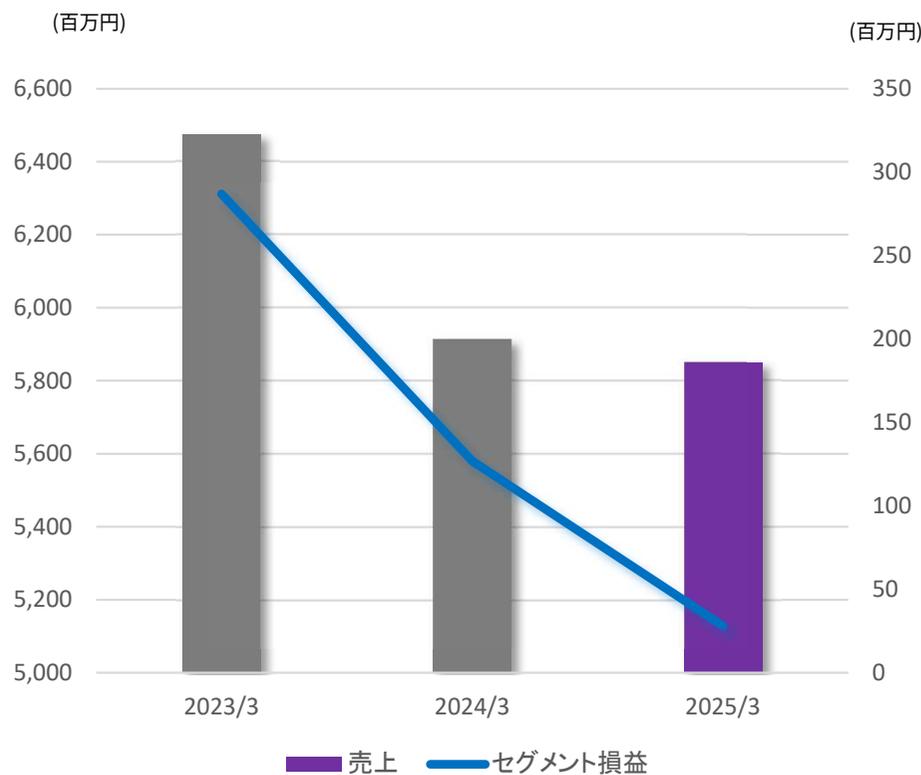
- ・ニアショア/ラボ事業 下期以降 要員90人/月 → 平均100人/月
平均に積上げを行い収益を確保
- ・人材採用面で苦労しているものの組織体制の構築は順調
原価予算を意識したプロジェクト、組織運営により安定して収益獲得

【今期戦略】

- ・安定受注（ニアショア、ラボ、SES、保守など）の拡大、機器販売の拡大
- ・単価アップ交渉によるベースUP
- ・社内業務、開発/構築業務、営業支援業務にAIを活用による生産性向上

売上高：5,851百万円（前期比 98.9%）

セグメント利益：127百万円（前期比 22.6%）



単位：百万円	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	6,476	5,914	5,851
セグメント損益	287	127	28

NXTechの減収

NXTech・アイニードの減益

NXTech

統合により前期比 -

- ・派遣人員（SE）の採用は難航、採用コスト増
- ・旧NEXT 統合時の人事コンサル等の一時費用を計上
- ・顧客との価格交渉は順調、平均単価は前期比16%改善

【今期戦略】

- ・エンジニアの技術力と付加価値向上（AI / クラウド強化）

アイニード

売上高 前期比 99.9%

- ・上期派遣人員の獲得に苦勞し売上高は前期比横ばい
- ・派遣人員は前期比減少するも下期以降純増数は回復傾向
- ・販管費の増加分の売上を獲得できず減益

【今期戦略】

- ・新規事業：web求人広告販売代理店
- ・人件費率増の改善（派遣管理システム導入、業績連動目標等）

イスト

売上高 前期比 106.6%

- ・EMPS事業（教育人材派遣・紹介）好調により増収
- ・代々木進学会（家庭教師）HP・広告文等変更 問い合わせ増により増収
- ・事業は好調であるものの移転費用等の販管費増加分はカバーできず減益

【今期戦略】

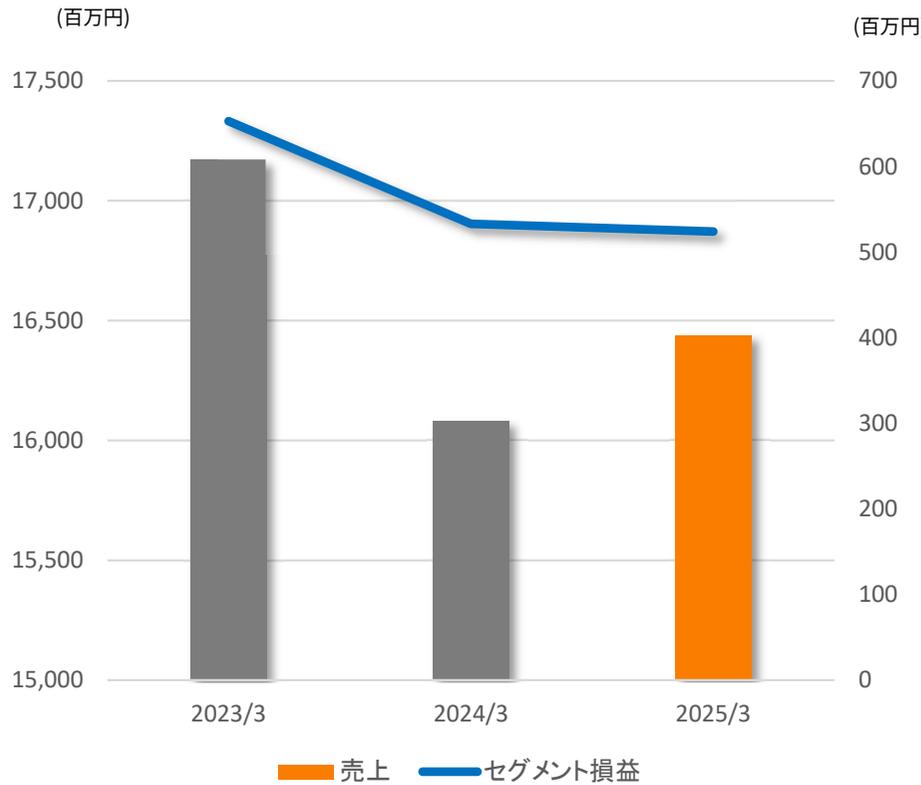
- ・EMPS事業：学内予備校の本格稼働、紹介事業に特化して全国に展開
- ・代々木進学会：オンライン家庭教師の始動、高校受験、大学受験への販路拡大

売上高：16,437百万円（前期比 102.2%）

セグメント利益：533百万円（前期比 98.3%）

売上高は前年通り

材料費・人件費の高騰の影響により減益



単位：百万円	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	17,171	16,081	16,437
セグメント損益	653	533	524

サムシング 売上高 前期比 104.0%

- ・労務費、製造経費の増加により減益
- ・主力商品SFP工法(住宅中心)売上増加
- ・沈下修正工事、地盤調査、新商材（JSドレーン遮熱シート、場所打ち杭等）の売上増

【今期戦略】

- ・単価UP：既存顧客へ調査、施工の価格交渉
- ・施工班の構造改革、販管費の削減による利益率の向上
- ・測量（4Dkankan）のハウスメーカーへの測量・調査セット売込み

アースプライム 売上高 前期比 105.5%

- ・ゼネコン案件の受注増

【今期戦略】

- ・建設業許可（さく井・とび土工）の認可による受注幅の拡大
- ・資材、人件費、輸送費の高騰による土質試験の一律値上げ実施

東名 売上高 前期比 90.4%

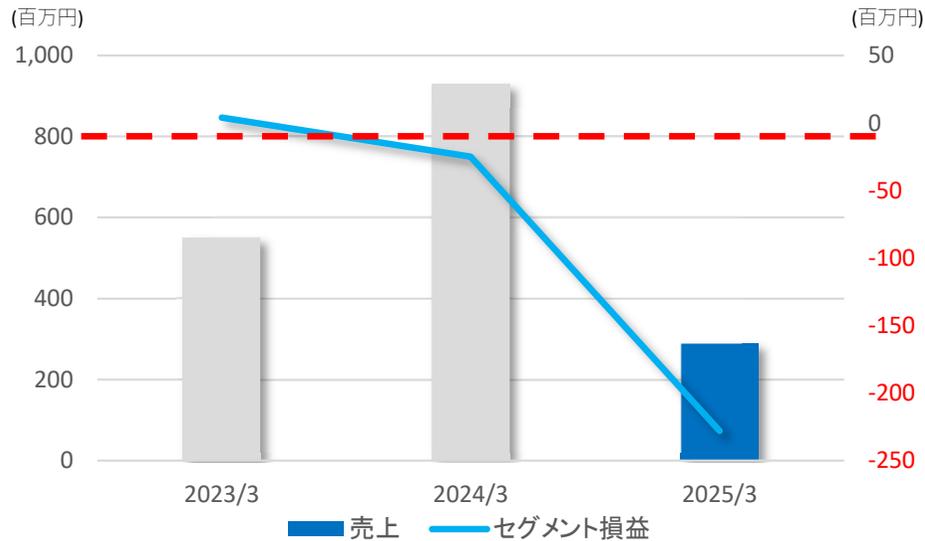
- ・工事の工程ずれや地中障害による撤収・工法変更が複数案件発生し売上減

- 【今期戦略】
- ・施工管理者の育成
 - ・鉄筋加工案件等、ユーシン社との共有化を図る

ユーシン 第4Qより連結対象

海外事業：前期比で大幅減収減益

- ✓ ベトナムの土砂不足（盛土材）による、材料の高騰および納入遅延による工事遅延
- ✓ 高騰した材料の影響を受けにくい工種案件の情報収集を期初から開始したため、期中での案件化が遅れる
- ✓ 営業・工事・管理部門で脆弱な情報共有体制が浮き彫りになる

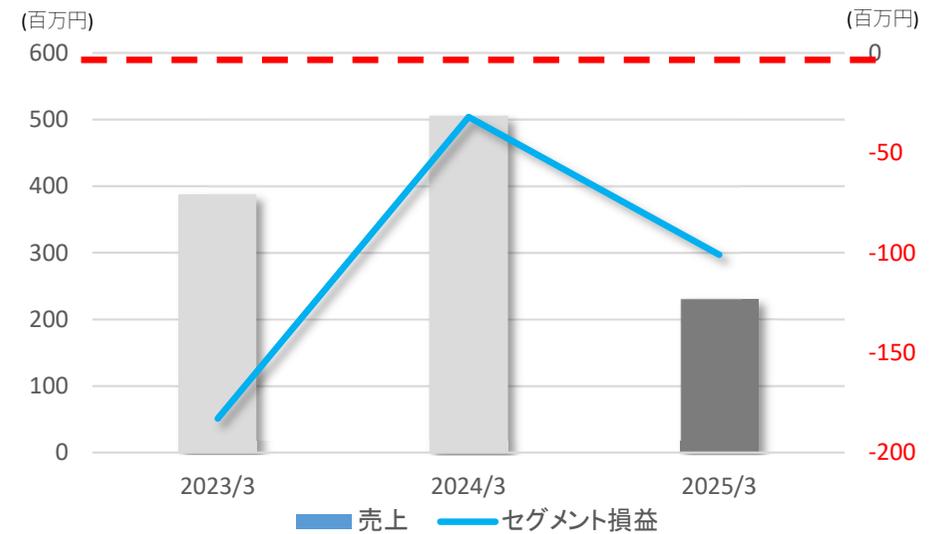


	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	551	931	289
セグメント損益	4	▲25	▲228

- ➡ ✓ 浮き彫りとなった社内・現場管理体制の立て直しを実施
- ✓ 海外事業の方向性を再検討する

その他事業：前期比減収減益、6期連続の赤字

- ✓ 中間期でも前年同期比減少、下期に予定していた検収案件の期ズレ発生 (kiipl&nap)
- ✓ 事業拡大を目指して人材採用を進めていたが、人件費増加に見合う大口案件等に結びつかず減益 (kiipl&nap)
- ✓ 売手のキャンセル等により減収減益、長年事業を継続してきたが事業拡大は難しいと判断 (M&Aマックス)



	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	388	506	231
セグメント損益	▲183	▲32	▲101

- ➡ ✓ 事業ポートフォリオの見直し: 今期中に「その他事業」の廃止を予定



1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics

- ✓ 売上重視の経営から利益重視の経営に転換し、不採算事業の整理等を積極的に行い利益獲得の土台の形成は整いつつあるものの、事業成長の面で大幅に計画を下回る
- ✓ 最終期である2025年3月期の計画数値を下方修正したものの、グループ会社の社会情勢の見通しや、計画値策定の甘さが浮彫になり、未達の結果となる

今後の課題

- ✓ 収益基盤の弱さが課題となる中、今後は価格戦略の見直し、生産性の向上、販管費の最適化を通じて、営業利益率改善と安定したキャッシュ創出体制の確立を目指す
- ✓ 構造的に赤字が続く非コア事業は、撤退や再編を進め、事業単位を最適化したうえで経営資源を集中させる限られた資本を成長領域に再配分することで、収益性の向上と資本効率の最大化を同時に実現する

	計画				実績			
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期 (計画修正)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	28,500	34,400	42,000	31,300	26,346	30,528	29,270	28,855
営業利益	650	1,000	1,750	1,090	238	739	713	333
経常利益	590	900	1,600	970	157	708	767	142
親会社株主に 帰属する 当期純利益	370	500	1,000	280	▲766	162	183	▲129

前中期経営計画は当初の計画を大幅に下回る結果となった

SAAFグループの成長可能性と収益性回復を伴う持続的企業価値向上を判断していただける新たな中期経営計画を策定中

(単位：百万円)	2024/3	2025/3	2026/3	対前期比	
	実績	実績	予想	増減額	増減率
売上高	29,270	28,855	30,000	1,145	4.0
営業利益	713	333	580	247	73.7
経常利益	767	142	380	238	166.1
親会社株主に 帰属する 当期純損益	183	▲129	110	239	—



1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics

基本方針

安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、株主への利益還元を経営の重要課題の一つと認識。財務体質の強化と今後の事業展開に備えた内部留保の充実を図りつつ、業績や景況等を総合的に勘案して、株主への配当を実施することを基本方針としております。

株主還元計画

収益基盤強化とキャッシュ創出力に基づく財務体制の改善を達成させることを前提として、次期中期経営計画の開示時に具体的な株主還元計画を発表させていただきます。



1

2025年3月期 決算概要

2

2025年3月期 セグメント

3

2026年3月期連結業績予想

4

株主還元

5

Topics

4 Dkankan 最新技術・デジタルツイン活用に関するカンファレンス ～4DKanKan Next Akiba '25～ 開催



2025年5月15日 プレスリリース

市場拡大が期待されるデジタルツイン技術
AI搭載型の360度カメラ「4 Dkankan」の最新活用方法を紹介！
～大手企業や大学等によるスケールの大きな実証事例・技術講演の実施～

- ・「名探偵コナン展」メタバース化プロジェクト (株)小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント
- ・「戸建住宅における現況測量とオフショアBPO 地盤ネット(株)
- ・ 進化系ロボット群の宇宙開発への応用事例 (株)竹中工務店

➡ 当社グループ間でのシナジー効果や様々な業界とのコラボレーションにより新たな価値創造の機会を提供

茨城大学にて熊本県天草市の企業誘致支援の 取り組みを題材とした講義「天草学」開設



2025年4月15日 プレスリリース

地方創生コンサルティングとして
テレワークの普及と企業誘致の両論で進めてきた熊本県天草市の
取組みが国立大学 茨城大学で通年講義「天草学」がスタート



講師は、みらい社が選定した地域活性化にともに取り組んできた天草市内の経営者が担当し、
地域社会が抱える人口減少・若者流出等のまちづくりの課題や取組みについて講義を実施

➡ 地方の未来像を天草から発信
更なる持続可能な地域社会モデルの構築の実現を目指す

愛知県美浜町「みはまスポーツDAY」開催！ バイタルウォッチを活用した運動体験を提供



2025年3月12日 プレスリリース

自然や運動施設を活かしたスポーツプログラムに最先端技術を
融合させることにより新たな価値の創出



当社グループみらい社がスポーツまちづくりの支援
をしている愛知県美浜町が開催した「みはまスポー
ツDAY」でNXTech社が開発した「みまわり伝書鳩
ヘルスケアシステム」のバイタルウォッチを活用し
た運動体験を実施

➡ 様々な利用シーンに合わせ、多彩なプログラムを提供
特定の目的で多くの人々の利用を可能にしたサービス、市場拡大を目指す

“地域特化型”求人サイト「じょぶる」販売代理店事業開始のお知らせ



2025年2月28日 プレスリリース

株式会社 アイニード

メイン事業である製造・物流業界向け
軽作業における派遣業とのシナジー効果を期待

自社で求人媒体を持つことにより、採用の差別化・採用費の抑制だけでなく、
企業の直接雇用ニーズにも応えられるようになり、企業が抱える「人」の課題
全体のソリューションの提案が可能

じょぶるが求人広告媒体として強みを持つ地域
の1つであり、アイニードで売上トップの実績
を誇る津山営業所がある岡山県から事業開始



➡ 地場企業とのネットワークを構築し、地域に密着した人に関する
豊富な情報を有する企業を目指す

●免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料は、一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資勧誘を目的とするものではありません。

SAAFホールディングス株式会社
経営管理本部
TEL：03-6770-9970
Mail：ir@saaf-hd.co.jp

ICT技術・DXにより社会インフラの効率的、
効果的付加価値の向上及び、社会貢献を目指す。



SAAF
Support As A Foundation.



Appendix

単位：千円	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
総資産の部	14,928,342	18,098,268	16,771,396	18,051,775	16,998,056
流動資産	10,644,938	13,089,410	11,835,308	11,888,738	10,803,735
現金及び預金	3,894,837	5,782,758	3,794,009	4,994,190	3,112,252
受取手形及び売掛金	4,744,636	5,433,275	6,049,224	5,847,730	6,281,908
固定資産	4,263,885	4,993,394	4,935,088	4,743,111	6,194,320
有形固定資産	1,720,706	2,138,188	2,497,448	2,425,562	2,753,915
無形固定資産	1,296,876	1,349,895	1,185,360	1,068,713	2,260,589
投資その他	1,246,302	1,505,310	1,252,278	1,248,836	1,179,815
負債の部	12,408,414	15,899,009	13,793,925	14,931,077	14,154,677
流動負債	7,699,000	11,891,382	10,086,915	11,848,427	9,510,505
支払手形及び買掛金	1,445,395	1,882,525	1,922,726	1,717,276	1,929,642
短期借入金	2,661,723	6,856,950	4,869,635	6,922,409	4,530,000
1年内 長期借入金	1,009,857	388,236	453,542	365,460	636,011
固定負債	4,709,414	4,007,627	3,707,009	3,082,649	4,644,171
長期借入金	4,056,269	3,345,376	2,856,160	2,305,286	3,865,174
純資産の部	2,519,927	2,199,258	2,977,471	3,120,698	2,843,379
資本金	1,293,008	1,489,224	1,866,314	1,909,570	1,909,570
資本剰余金	2,412,565	2,582,917	2,953,034	2,991,881	751,590
利益剰余金	▲1,381,486	▲2,209,724	▲2,109,529	▲1,881,601	23,209
株主資本合計	2,314,707	1,852,610	2,699,813	3,019,849	2,684,246
非支配株主持分	139,813	330,088	346,143	218,728	194,523

単位：千円	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
営業CF	▲862,501	129,304	369,398	572,269	305,192
投資CF	▲1,051,337	▲601,404	▲498,715	▲5,125	▲1,647,104
財務CF	2,539,145	2,111,356	▲1,843,113	925,146	405,012
現金及び現金同等物の期末残高	3,536,578	5,235,065	3,293,359	4,794,906	3,044,362
フリーCF	▲1,913,839	▲472,100	▲129,317	567,143	▲1,341,912

単位：千円		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	通期	22,634,593	26,346,996	30,528,153	29,270,215	28,855,658
	第3四半期（累計）	16,148,211	18,571,211	21,826,817	21,069,424	21,148,886
	第2四半期（累計）	10,298,704	11,882,222	14,331,201	13,848,713	13,718,918
	第1四半期	4,702,261	5,722,506	6,705,778	6,851,298	6,977,159
売上原価	通期	16,528,399	19,698,212	22,714,228	21,700,717	21,692,401
	第3四半期（累計）	12,124,836	14,040,287	16,556,990	15,836,428	16,092,356
	第2四半期（累計）	7,924,943	8,916,663	10,925,649	10,396,421	10,400,813
	第1四半期	3,564,854	4,269,302	5,039,452	5,095,020	5,264,596
売上総利益	通期	6,106,193	6,648,783	7,813,924	7,569,497	7,163,256
	第3四半期（累計）	4,023,374	4,530,924	5,269,826	5,232,995	5,056,530
	第2四半期（累計）	2,373,761	2,965,559	3,405,551	3,452,292	3,318,104
	第1四半期	1,137,407	1,453,203	1,666,326	1,756,277	1,712,562
販売費及び一般管理費	通期	6,359,048	6,410,080	7,074,499	6,855,735	6,829,256
	第3四半期（累計）	4,777,375	4,843,142	5,375,406	5,130,640	5,148,158
	第2四半期（累計）	3,237,910	3,374,240	3,714,067	3,483,691	3,397,107
	第1四半期	1,619,413	1,727,609	1,869,862	1,787,242	1,742,182
営業損益	通期	▲252,854	238,703	739,425	713,762	333,999
	第3四半期（累計）	▲754,001	▲312,218	▲105,579	102,354	▲91,627
	第2四半期（累計）	▲864,148	▲408,681	▲308,515	▲31,399	▲79,002
	第1四半期	▲482,006	▲274,406	▲203,536	▲30,965	▲29,620
経常損益	通期	▲208,537	157,244	708,457	767,760	142,814
	第3四半期（累計）	▲749,953	▲323,124	▲96,265	75,369	▲260,847
	第2四半期（累計）	▲829,644	▲429,759	▲238,388	11,805	▲169,205
	第1四半期	▲461,931	▲286,069	▲130,575	20,120	▲4,662
親会社株主に帰属する 当期純損益	通期	▲843,457	▲766,064	162,492	183,138	▲129,176
	第3四半期（累計）	▲1,139,816	▲907,915	▲446,489	▲367,700	▲513,655
	第2四半期（累計）	▲925,686	▲730,367	▲536,219	▲196,772	▲280,502
	第1四半期	▲516,391	▲381,655	▲286,287	▲2,907	▲101,311

単位：千円		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	第4四半期	6,486,382	7,775,784	8,701,336	8,200,790	7,706,771
	第3四半期	5,849,506	6,688,988	7,495,615	7,220,710	7,429,968
	第2四半期	5,596,443	6,159,716	7,625,422	6,997,415	6,741,759
	第1四半期	4,702,261	5,722,506	6,705,778	6,851,298	6,977,159
売上原価	第4四半期	4,403,563	5,657,925	6,157,238	5,864,288	5,600,044
	第3四半期	4,199,893	5,123,623	5,631,341	5,440,007	5,691,542
	第2四半期	4,360,089	4,647,360	5,886,197	5,301,400	5,136,216
	第1四半期	3,564,854	4,269,302	5,039,452	5,095,020	5,264,596
売上総利益	第4四半期	2,082,819	2,117,859	2,544,098	2,336,502	2,106,726
	第3四半期	1,649,613	1,565,364	1,864,274	1,780,702	1,738,425
	第2四半期	1,236,354	1,512,355	1,739,225	1,696,014	1,605,542
	第1四半期	1,137,407	1,453,203	1,666,326	1,756,277	1,712,562
販売費及び一般管理費	第4四半期	1,581,672	1,566,937	1,699,092	1,725,094	1,681,098
	第3四半期	1,539,465	1,468,901	1,661,339	1,646,949	1,751,050
	第2四半期	1,618,496	1,646,631	1,844,204	1,696,448	1,654,924
	第1四半期	1,619,413	1,727,609	1,869,862	1,787,242	1,742,182
営業損益	第4四半期	501,146	550,921	845,005	611,407	425,627
	第3四半期	110,147	96,463	202,935	133,753	▲12,624
	第2四半期	▲382,142	▲134,275	▲104,978	▲434	▲49,382
	第1四半期	▲482,006	▲274,406	▲203,536	▲30,965	▲29,620
経常損益	第4四半期	541,415	480,368	804,723	692,391	403,662
	第3四半期	79,690	106,635	142,123	63,564	▲91,642
	第2四半期	▲367,713	▲143,690	▲107,813	▲8,315	▲164,543
	第1四半期	▲461,931	▲286,069	▲130,575	20,120	▲4,662
親会社株主に帰属する 当期純損益	第4四半期	296,358	141,851	608,981	550,838	384,478
	第3四半期	▲214,129	▲177,547	89,730	▲170,928	▲233,153
	第2四半期	▲409,295	▲348,711	▲249,931	▲193,864	▲179,190
	第1四半期	▲516,391	▲381,655	▲286,287	▲2,907	▲101,311